2025年３月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年５月15日

上 場 会 社 名	株式会社エイジス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4659	URL	https://www.ajis.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 福田　久也	
問合せ先責任者	(役職名) 財務会計部長	(氏名) 西本　敬	(TEL) 043-350-0567
定時株主総会開催予定日	2025年６月24日	配当支払開始予定日	2025年６月25日
有価証券報告書提出予定日	2025年６月23日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　有

決算説明会開催の有無　　：　有　（　アナリスト・機関投資家向け　）

(百万円未満切捨て)

１．2025年３月期の連結業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	33,960	13.2	3,032	20.2	3,134	19.6	2,104	10.2
2024年３月期	29,995	15.1	2,521	△10.1	2,620	△10.5	1,910	2.1

(注) 包括利益　2025年３月期　2,220百万円(　8.9%)　2024年３月期　2,039百万円(　3.9%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年３月期	249.63	―	8.7	10.6	8.9
2024年３月期	226.78	―	8.4	9.5	8.4

(参考) 持分法投資損益　2025年３月期　－百万円　2024年３月期　－百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	30,731	25,083	81.4	2,967.80
2024年３月期	28,589	23,560	82.2	2,790.48

(参考) 自己資本　2025年３月期　25,029百万円　2024年３月期　23,512百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年３月期	3,126	△325	△716	15,721
2024年３月期	1,978	△3,279	△997	13,553

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年３月期	―	0.00	―	85.00	85.00	716	37.5	3.1
2025年３月期	―	0.00	―	95.00	95.00	801	38.1	3.3
2026年３月期(予想)	―	0.00	―	95.00	95.00		38.7	

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	16,970	6.0	900	△30.4	993	△26.6	610	△20.9	72.33
通　期	37,000	8.9	2,350	△22.5	2,512	△19.9	2,070	△1.6	245.44

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　：　無

新規　　-社　（社名）　、除外　　-社　（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期	10,771,200株	2024年３月期	10,771,200株
②　期末自己株式数	2025年３月期	2,337,436株	2024年３月期	2,345,311株
③　期中平均株式数	2025年３月期	8,430,744株	2024年３月期	8,423,945株

（参考）　個別業績の概要

１．2025年３月期の個別業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	16,346	3.4	2,283	2.0	4,500	89.7	3,836	119.8
2024年３月期	15,808	△0.2	2,238	△6.3	2,372	△6.0	1,745	3.1

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期	455.05	―
2024年３月期	207.19	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	26,247	23,123	88.1	2,741.77
2024年３月期	22,580	19,976	88.5	2,370.87

（参考）自己資本　　2025年３月期　23,123百万円　　2024年３月期　19,976百万円

２．2026年３月期の個別業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	17,800	8.9	1,827	△59.4	1,710	△55.4	202.76

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P６「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

・当社は、2025年５月15日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 4
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 4
（４）今後の見通し …… 6
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 6
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）連結貸借対照表 …… 7
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 9
連結損益計算書 …… 9
連結包括利益計算書 …… 10
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 11
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 13
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 15
（継続企業の前提に関する注記） …… 15
（セグメント情報等の注記） …… 15
（１株当たり情報） …… 19
（重要な後発事象） …… 19

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2024年４月１日から2025年３月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善のもとで景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、世界における紛争地域の動向等の影響により、日本経済の景気先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、所得環境の改善や商品単価の上昇、インバウンド需要の回復等による収益の押し上げ効果が見られたものの、業種・業態を超えた価格競争の激化、人件費やエネルギー資源価格の高止まりなどによる店舗運営コストの増加、生活防衛意識の高まりから慎重な個人消費が続くなど、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは「チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念に基づき、株主をはじめとするステークホルダーの皆さま、そして社会にとってより魅力的な企業であり続けるために、「サービスプロバイダーからソリューションプロバイダーへ」「メーカーと小売業と消費者をつなぐ唯一無二の存在へ」を実現し社会的価値を向上すべく、新たな中期経営計画「vision50」を策定し、これらを実現するために事業活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高33,960百万円（前期比13.2％増）、営業利益3,032百万円（前期比20.2％増）、経常利益3,134百万円（前期比19.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,104百万円（前期比10.2％増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。なお、当連結会計年度より、新たな中期経営計画「vision50」に基づき報告セグメントの区分を変更しており、以下の前期比較については、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で開示しております。詳細は、「３ 連結財務諸表及び主な注記（５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載しております。

Ⅰ　リテイルサポート事業

売上高は、国内棚卸サービスにおける１店舗あたりの売上単価の上昇および受注店舗数の増加に加え、主要顧客からの集中補充サービスの受注増加により、増収となりました。営業利益は、国内棚卸サービスおよび集中補充サービスならびに改装サービスにおける生産性向上施策などにより売上総利益が増加し、加えてサービス料金の改定などにより増益となりました。

売上高は25,267百万円（前期比5.6％増加）、セグメント利益は2,765百万円（前期比17.5％増加）となりました。

なお、主力事業である国内棚卸サービスの業績の内訳は以下のとおりであります。

ⅰ　国内棚卸受託収入

棚卸サービスの売上高は前期比4.2%増加の15,826百万円となりました。業態別の内訳は次のとおりであります。

（コンビニエンスストア）

既存顧客の受注増加等により、売上高は前期比8.3%増加の3,862百万円となりました。

（スーパーマーケット）

既存顧客の受注増加等により、売上高は前期比2.9%増加の2,221百万円となりました。

（ホームセンター・ドラッグストア）

既存顧客の受注増加等により、売上高は前期比9.3%増加の4,205百万円となりました。

（書店）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前期比4.6%減少の451百万円となりました。

（ＧＭＳ）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前期比3.1%減少の1,781百万円となりました。

（専門店等）

既存顧客の受注減少等により、売上高は前期比0.0%減少の3,304百万円となりました。

（注）ＧＭＳ（General Merchandise Store）
大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型大型総合スーパーであります。

ⅱ　その他
店舗支援業務の受注減少、マーチャンダイジングサービスへの一部サービスの移管などにより、売上高は前期比36.6%減少の225百万円となりました。

ⅲ　ロイヤリティ収入
ロイヤリティ収入は前期比9.5%増加の194百万円となりました。

Ⅱ　マーケティング事業
2023年10月に連結子会社となりました株式会社mitorizの業績を加えたことにより、セグメントの売上高、営業利益は増収増益となりました。なお、営業利益は、株式会社mitorizの企業結合に伴うのれん償却費などの増加による影響を含んでおります。
売上高は5,368百万円（前期比75.2%増）、セグメント利益は104百万円（前期比14.3%増）となりました。

Ⅲ　国際事業
売上高は、既存顧客からの受注店舗数の増加、新規顧客の獲得などにより増収となりました。営業利益は売上増加による稼働率の向上および各種コスト削減の効果により増益となりました。
売上高は3,323百万円（前期比10.8%増加）、セグメント利益は152百万円（前期比42.3%増加）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ2,142百万円増加し30,731百万円(前連結会計年度比7.5%増加)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9.2%増加し、21,792百万円となりました。これは主に、有価証券が199百万円減少したものの、現金及び預金が1,957百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.6%増加し、8,939百万円となりました。これは主に、のれんが239百万円および顧客関連資産が74百万円減少したものの、次世代基幹システムに係るソフトウエアなどを含む無形固定資産のその他が910百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ619百万円増加し5,648百万円(前連結会計年度比12.3%増加)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13.9%増加し、5,461百万円となりました。これは主に、未払法人税が422百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ20.5%減少し、186百万円となりました。これは主に、企業結合に係る繰延税金負債25百万円および本社ビル売却に伴い投資その他の資産のその他に含む資産除去債務が30百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,523百万円増加し25,083百万円(前連結会計年度比6.5%増加)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益が増加したことなどによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増減額は、前連結会計年度末に比べ2,167百万円増加し、当連結会計年度末には、15,721百万円（前期比16.0%増加）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果、獲得した資金は、3,126百万円（前期比58.0%増加）であります。これは主に、支出要因として法人税等の支払額670百万円などがあったものの、収入要因として税金等調整前当期純利益3,121百万円、減価償却費267百万円、のれん償却額241百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果、使用した資金は、325百万円（前期比90.1%減少）であります。これは主に、収入要因として有価証券の償還による収入500百万円などがあったものの、支出要因として主に次世代基幹システムに係る無形固定資産の取得による支出1,008百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果、使用した資金は、716百万円（前期比28.2%減少）であります。これは主に、支出要因として配当金の支払額716百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年３月期	2022年３月期	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期
自己資本比率（%）	78.5	85.5	83.8	82.2	81.4
時価ベースの自己資本比率（%）	131.3	82.6	73.0	75.1	67.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	7,088.3	1,382.6	3,160.3	905.4	3,579.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注１)いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注２)株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注３)キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注４)有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

（４）今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化に伴う小売業界全体の市場規模縮小に加え、コスト削減意識の高まりに伴う業務の内製化、人手不足の高まりや賃上げによる人件費の増加など、厳しい状況が続くと予想されます。

このような環境において、当社グループでは「チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念のもと、株主をはじめとするステークホルダーの皆さま、そして社会にとってより魅力的な企業であり続けるために、「サービスプロバイダーからソリューソンプロバイダーへ」「メーカーと小売業と消費者をつなぐ唯一無二の存在へ」を実現し社会的価値を向上すべく、中期経営計画「vision50」に基づき、これらを実現するために事業活動に取り組んでまいります。

2026年３月期の重点施策と主な取り組みは、次のとおりであります。

1 「事業転換を実現するために新たなシナジーを創出する」

サービス価格改定やオペレーション条件変更提案により収益の柱であるリテイルサポート事業の収益性を改善するとともに、当社グループの顧客資産を活かしたアップセルの推進や、高品質で高付加価値なサービスの提供を通じて、お客様とのパートナーシップの強化を図ってまいります。また経営組織をスリム化し、オペレーションおよび成長領域への経営資源を集中させることで、各事業の成長を実現してまいります。

2 「グループの柱となる新たな事業を創出する」

メーカーや小売業のニーズを満たす新たなサービスやソリューションを開発するため、外部資源の活用による仕組みづくり、中期経営計画に沿った機能を補完するためのM&Aなど、積極的な投資を実行してまいります。また、新サービスの発掘を目的とした流通関連サービスの調査・研究を進めるほか、創造性と挑戦力を生み出すためのダイバーシティの取り組みや、新たな事業の創出に向けたオープンイノベーションの取り組みなどを積極的に実行してまいります。

3 「展開地域をアジアから世界へ拡大する」

進出地域および顧客固有のニーズを満たすソリューションサービスを開発し拡販するため、主要顧客との共同プロジェクトや提携の推進、Webを活用したマーケティングの強化をしてまいります。同時に、現地に即した高品質で低コストなオペレーションの構築による収益性の向上、展開地域の拡大に向けた海外展開戦略の実行などの取り組みを進めてまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高37,000百万円（当期比8.9％増加）、営業利益2,350百万円（当期比22.5％減少）、経常利益2,512百万円（当期比19.9％減少）、親会社株主に帰属する当期純利益2,070百万円（当期比1.6％減少）を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当連結会計年度 (2025年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,015,065	15,972,506
受取手形、売掛金及び契約資産	5,098,495	5,102,669
有価証券	499,472	299,764
貯蔵品	39,444	33,956
その他	304,437	383,442
流動資産合計	19,956,914	21,792,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	988,483	931,841
減価償却累計額	△635,643	△642,142
建物及び構築物（純額）	352,840	289,698
工具、器具及び備品	573,308	685,150
減価償却累計額	△487,148	△470,806
工具、器具及び備品（純額）	86,159	214,344
土地	1,276,394	1,276,014
その他	9,696	9,905
減価償却累計額	△7,915	△8,719
その他（純額）	1,780	1,185
有形固定資産合計	1,717,175	1,781,243
無形固定資産		
のれん	1,672,039	1,433,012
顧客関連資産	556,727	482,496
その他	559,968	1,470,052
無形固定資産合計	2,788,735	3,385,561
投資その他の資産		
投資有価証券	3,681,434	3,284,278
繰延税金資産	158,993	220,251
その他	285,811	268,125
投資その他の資産合計	4,126,239	3,772,654
固定資産合計	8,632,150	8,939,459
資産合計	28,589,065	30,731,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当連結会計年度 (2025年３月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	158,291	170,301
未払金	2,837,964	2,895,128
未払法人税等	269,728	692,175
未払消費税等	525,422	587,749
賞与引当金	484,927	546,576
役員賞与引当金	5,964	6,024
その他	511,366	563,495
流動負債合計	4,793,665	5,461,451
固定負債		
退職給付に係る負債	7,781	8,607
繰延税金負債	192,571	166,895
その他	34,526	11,144
固定負債合計	234,880	186,647
負債合計	5,028,546	5,648,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	472,406	479,301
利益剰余金	26,027,203	27,415,611
自己株式	△3,709,641	△3,697,227
株主資本合計	23,264,969	24,672,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,243	123,446
為替換算調整勘定	131,092	233,629
その他の包括利益累計額合計	247,335	357,075
非支配株主持分	48,214	53,939
純資産合計	23,560,519	25,083,700
負債純資産合計	28,589,065	30,731,799

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
売上高	29,995,241	33,960,587
売上原価	22,325,429	25,248,238
売上総利益	7,669,811	8,712,349
販売費及び一般管理費	5,147,881	5,680,116
営業利益	2,521,930	3,032,232
営業外収益		
受取利息	54,434	67,216
受取配当金	5,682	6,099
受取賃貸料	26,729	26,181
業務受託料	12,004	18,657
為替差益	2,758	－
物品売却益	275	662
その他	25,227	32,209
営業外収益合計	127,111	151,026
営業外費用		
支払利息	3,138	5,160
賃貸費用	12,285	12,456
業務受託費用	11,527	17,724
為替差損	－	888
貸倒引当金繰入額	－	4,000
その他	1,705	8,626
営業外費用合計	28,657	48,856
経常利益	2,620,383	3,134,403
特別利益		
固定資産売却益	－	3,772
関係会社株式売却益	11,939	－
資産除去債務取崩益	－	25,944
その他	－	72
特別利益合計	11,939	29,788
特別損失		
固定資産除却損	3,486	25,944
投資有価証券評価損	10,000	9,500
関係会社株式評価損	6,193	1,828
出資金評価損	－	5,084
特別損失合計	19,679	42,357
税金等調整前当期純利益	2,612,644	3,121,834
法人税、住民税及び事業税	711,729	1,103,015
法人税等調整額	△9,852	△91,613
法人税等合計	701,876	1,011,402
当期純利益	1,910,767	2,110,432
非支配株主に帰属する当期純利益	413	5,824
親会社株主に帰属する当期純利益	1,910,354	2,104,607

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
当期純利益	1,910,767	2,110,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,518	7,203
為替換算調整勘定	59,911	102,437
その他の包括利益合計	128,429	109,640
包括利益	2,039,197	2,220,073
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	2,038,784	2,214,347
非支配株主に係る包括利益	413	5,725

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年４月１日　至 2024年３月31日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	475,000	474,817	24,811,533	△3,718,070	22,043,280
当期変動額					
剰余金の配当			△673,774		△673,774
連結範囲の変動			△20,909		△20,909
親会社株主に帰属する当期純利益			1,910,354		1,910,354
自己株式の取得				△154	△154
自己株式の処分		4,004		8,583	12,588
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△6,415			△6,415
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△2,410	1,215,670	8,429	1,221,689
当期末残高	475,000	472,406	26,027,203	△3,709,641	23,264,969

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	47,725	71,180	118,905	215,908	22,378,094
当期変動額					
剰余金の配当					△673,774
連結範囲の変動					△20,909
親会社株主に帰属する当期純利益					1,910,354
自己株式の取得					△154
自己株式の処分					12,588
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△6,415
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	68,518	59,911	128,429	△167,694	△39,264
当期変動額合計	68,518	59,911	128,429	△167,694	1,182,424
当期末残高	116,243	131,092	247,335	48,214	23,560,519

当連結会計年度(自 2024年４月１日　至 2025年３月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	475,000	472,406	26,027,203	△3,709,641	23,264,969
当期変動額					
剰余金の配当			△716,200		△716,200
連結範囲の変動					－
親会社株主に帰属する当期純利益			2,104,607		2,104,607
自己株式の取得				△123	△123
自己株式の処分		6,894		12,537	19,432
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	6,894	1,388,407	12,413	1,407,715
当期末残高	475,000	479,301	27,415,611	△3,697,227	24,672,685

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	116,243	131,092	247,335	48,214	23,560,519
当期変動額					
剰余金の配当					△716,200
連結範囲の変動					－
親会社株主に帰属する当期純利益					2,104,607
自己株式の取得					△123
自己株式の処分					19,432
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7,203	102,536	109,740	5,725	115,465
当期変動額合計	7,203	102,536	109,740	5,725	1,523,180
当期末残高	123,446	233,629	357,075	53,939	25,083,700

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,612,644	3,121,834
減価償却費	160,611	267,881
のれん償却額	144,451	241,314
顧客関連資産償却費	37,115	74,230
賞与引当金の増減額（△は減少）	46,752	54,239
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	4,095	△1,046
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	74	△116
受取利息及び受取配当金	△60,116	△73,316
支払利息	3,138	5,160
固定資産除却損	3,486	25,944
投資有価証券評価損益（△は益）	10,000	9,500
出資金評価損	－	5,084
関係会社株式売却損益（△は益）	△11,939	－
関係会社株式評価損	6,193	1,828
資産除去債務取崩益	－	△25,944
売上債権の増減額（△は増加）	△487,169	184,704
未払金の増減額（△は減少）	60,767	△49,278
未払消費税等の増減額（△は減少）	132,187	61,012
その他	208,014	△183,978
小計	2,870,305	3,719,051
利息及び配当金の受取額	59,098	78,993
利息の支払額	△2,185	△873
法人税等の支払額	△948,880	△670,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978,338	3,126,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	400,000	500,000
定期預金の預入による支出	△656,812	△154,855
定期預金の払戻による収入	562,085	386,692
有形固定資産の取得による支出	△31,767	△194,067
有形固定資産の売却による収入	9,967	39,770
無形固定資産の取得による支出	△279,056	△1,008,604
投資有価証券の取得による支出	△809,707	－
投資有価証券の償還による収入	－	100,000
差入保証金の差入による支出	△15,440	△13,646
差入保証金の回収による収入	22,195	22,025
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,485,023	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	23,050	－
その他	△18,632	△2,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,279,142	△325,346

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△9,828	－
自己株式の取得による支出	△154	△123
配当金の支払額	△681,858	△716,200
非支配株主への配当金の支払額	△1,078	－
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△305,057	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△997,977	△716,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,179	83,236
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,254,602	2,167,870
現金及び現金同等物の期首残高	15,807,818	13,553,216
現金及び現金同等物の期末残高	13,553,216	15,721,086

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

1　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内、海外における「リテイルサポート事業」を主力とし、その他「マーケティング事業」を行っております。グループ各社はそれぞれ独立した経営単位であり、各社ごとに戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「リテイルサポート事業」においては、国内における実地棚卸サービス、マーチャンダイジングサービスおよび集中補充サービスといったサービスを提供しております。「マーケティング事業」においては、国内におけるリアルマーケティングソリューション、人材派遣、リサーチサービスといったサービスを提供しております。「国際事業」においては、国内におけるサービスを海外にて総合的に提供しております。

2　報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分の変更）

当連結会計年度より、新たな中期経営計画「vision50」に基づき、報告セグメントを従来の「国内棚卸サービス」、「リテイルサポートサービス」および「海外棚卸サービス」の３区分から「リテイルサポート事業」、「マーケティング事業」および「国際事業」の３区分に変更いたしました。これは、各種サービスやサポート機能の集約化により経営資源を集中させることで成長速度を高めるとともに、コスト削減することなどを目的に、既存事業を機能別に整理したものとなります。前連結会計年度の数値については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で開示しております。なお、報告セグメントの変更の概要は以下のとおりであります。

「2024年３月期（前連結会計年度）」

報告セグメント	当該セグメントに属する会社
国内棚卸サービス	・ 株式会社エイジス
リテイルサポートサービス	・ エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社 ・ エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社 ・ 株式会社ロウプ（※2024年2月全株式譲渡） ・ 株式会社mitoriz（※2023年10月連結子会社化）
海外棚卸サービス	・ エイジスビジネスサポート株式会社 ・ 艾捷是（上海）商務服務有限公司 ・ AJIS(MALAYSIA)SDN.BHD. ・ 愛捷是（広州）商務服務有限公司 ・ 愛捷是（北京）商務服務有限公司 ・ AJIS(HONGKONG) CO.,LIMITED ・ AJIS(THAILAND) CO.,LIMITED ・ AJIS(VIETNAM) CO.,LIMITED ・ AJIS USA,Inc. ・ AJIS RETAIL SOLUTIONS SINGAPORE PTE.LTD.（※2024年1月設立）

「2025年３月期（当連結会計年度）」

報告セグメント	当該セグメントに属する会社
リテイルサポート事業	・ 株式会社エイジス ・ エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社
マーケティング事業	・ エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社 ・ 株式会社mitoriz
国際事業	・ エイジスビジネスサポート株式会社 ・ 艾捷是（上海）商務服務有限公司 ・ AJIS(MALAYSIA)SDN.BHD. ・ 愛捷是（広州）商務服務有限公司 ・ 愛捷是（北京）商務服務有限公司 ・ AJIS(HONGKONG) CO.,LIMITED ・ AJIS(THAILAND) CO.,LIMITED ・ AJIS(VIETNAM) CO.,LIMITED ・ AJIS USA,Inc. ・ AJIS RETAIL SOLUTIONS SINGAPORE PTE.LTD.

３　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は、一般取引条件に基づいております。

4　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：千円）

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	23,930,590	3,065,217	2,999,433	29,995,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,573	3,602	－	83,175
計	24,010,164	3,068,819	2,999,433	30,078,416
セグメント利益	2,354,352	91,774	107,229	2,553,357
セグメント資産	26,931,929	2,007,241	2,169,940	31,109,111
その他の項目				
減価償却費	128,177	20,247	12,185	160,611
のれんの償却額	－	130,828	13,622	144,451
顧客関連資産償却費	－	37,115	－	37,115
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	313,319	12,414	61,146	386,880

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：千円）

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	25,267,798	5,368,857	3,323,932	33,960,587
セグメント間の内部売上高又は振替高	93,408	8,178	－	101,586
計	25,361,206	5,377,035	3,323,932	34,062,174
セグメント利益	2,765,286	104,912	152,611	3,022,810
セグメント資産	28,903,301	2,153,943	2,453,589	33,510,834
その他の項目				
減価償却費	218,186	40,625	9,069	267,881
のれんの償却額	－	219,292	22,021	241,314
顧客関連資産償却費	－	74,230	－	74,230
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,207,904	40,489	28,640	1,277,034

５　報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,553,357	3,022,810
セグメント間取引消去	△31,427	9,422
連結財務諸表の営業利益	2,521,930	3,032,232

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	31,109,111	33,510,834
セグメント間取引消去	△2,520,046	△2,779,035
連結財務諸表の資産合計	28,589,065	30,731,799

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	160,611	267,881	－	－	160,611	267,881
のれんの償却額	144,451	241,314	－	－	144,451	241,314
顧客関連資産償却費	37,115	74,230	－	－	37,115	74,230
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	386,880	1,277,034	－	－	386,880	1,277,034

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自　2023年４月１日　至　2024年３月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	計			
(のれん)							
当期末残高	―	1,644,694	27,345	1,672,039	―	―	1,672,039
(顧客関連資産)							
当期末残高	―	556,727	―	―	―	―	556,727

(注)　のれん償却額および顧客関連資産償却費に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	計			
(のれん)							
当期末残高	―	1,425,401	7,610	1,433,012	―	―	1,433,012
(顧客関連資産)							
当期末残高	―	482,496	―	―	―	―	482,496

(注)　のれん償却額および顧客関連資産償却費に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(１株当たり情報)

	前連結会計年度 (自　2023年４月１日 至　2024年３月31日)	当連結会計年度 (自　2024年４月１日 至　2025年３月31日)
１株当たり純資産額	2,790.48円	2,967.80円
１株当たり当期純利益	226.78円	249.63円

(注) １　潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２　１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自　2023年４月１日 至　2024年３月31日)	当連結会計年度 (自　2024年４月１日 至　2025年３月31日)
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,910,354	2,104,607
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,910,354	2,104,607
普通株式の期中平均株式数(株)	8,423,945	8,430,744

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以　上